2024年9月　稲刈り・稲架がけ

…初日は大雨の中、手刈りと稲を束ねるところまで

2024年9月　稲刈り・稲架がけ

…2日目に小荒戸集落で稲架がけまで完了！

2024年10月　収穫祭@タマリバタケ

…東京・世田谷区のコミュニティ農園で収穫祭開催

2024年11月　いちべえさんと収穫祭

…棚田ハウスで新米を試食

2024年11月　いちべえさんと収穫祭

…藁を散布して、田んぼじまい（秋代せず）

こだわったポイント①：減農薬農法の実証

「完全無農薬」に対する憧れはある一方、

実際に「通い農」で行う上で必要な対策は講じる必要あり。

減農薬農法に関する勉強会の開催などを通して理解を得た。

こだわったポイント②：オープンなコミュニティ

当初、東京・世田谷のメンバーを中心に立ち上がったコミュニティだが、

新潟市、千葉市など多方面からのメンバーも増え、

Facebookグループでの交流促進を通してオープンコミュニティとなるよう努めた

こだわったポイント③：収量に応じた配当米

「棚田オーナー制度」では一般的な”配当米の最低保証”をせず、

耕作会員の作業参加時間に応じて、収量を按分していくという方式で配当。

「来年はもっと工夫して収量を上げたい」等、

「通い農」としてのモチベーションアップにも繋がっている

「ヨ～イ！みんなの棚田」配当米リスト

耕作ポイント（3時間以上/日→4pt、3時間以下/日→2pt）

名前	ベースポイント（口数×10pt）	耕作ポイント	合計ポイント	配当米(kg)	5/4ジョソサイズ春の陣	6/1田植え	6/29ジョソサイズ夏の陣	8/11稲架掛づり	9/14クサネムくり	9/15稲刈りジョソ	9/16稲架掛け	その他日程
合計	250	272	522	65	48	44	32	24	16	48		22
[illegible]	10	10	20	2.5	4	0			2	4		
[illegible]	10	22	32	4.0	4	4	4	4	2	4		
[illegible]	10	22	32	4.0	4	4	4		2	4	4	
[illegible]	10	10	20	2.5	4	0			2	4		
[illegible]	10	18	28	3.5	4	4	4			4	2	
[illegible]	10	16	26	3.2	4	4	4			4		
[illegible]	10	26	36	4.5	4	4	4	4	2	4	4	
[illegible]	10	18	28	3.5	4	4	4		2	4		
[illegible]	10	12	22	2.7	4	0		4		4		
[illegible]	10	30	40	5.0	4	4	4	4		4	10	
[illegible]	10	18	28	3.5		4	4	4	2	4		
[illegible]	10	4	14	1.7		4						
[illegible]	10	4	14	1.7		4						
[illegible]	10	10	20	2.5				4	2	4		
[illegible]	10	4	14	1.7		4						
[illegible]	20	0	20	2.5								
[illegible]	10	2	12	1.5							2	
[illegible]	40	0	40	5.0								
[illegible]	10	4	14	1.7	4							
[illegible]	10	4	14	1.7	4	0						
[illegible]	10	4	14	1.7						4		
[illegible]	0	30	30	3.7	4	4	4		4	4	10	
[illegible]	0	8	8	1.0		4				4		
[illegible]	10	0	10	1.2								

こだわったポイント④：メディアを通したPR

活動自体を広く知ってもらうため、

「通い農」という社会記号を意識的に用いてPR活動を実施。

23件ものメディア露出に繋がった

アンケート結果①

参加者（耕作会員）のうち70%以上が、

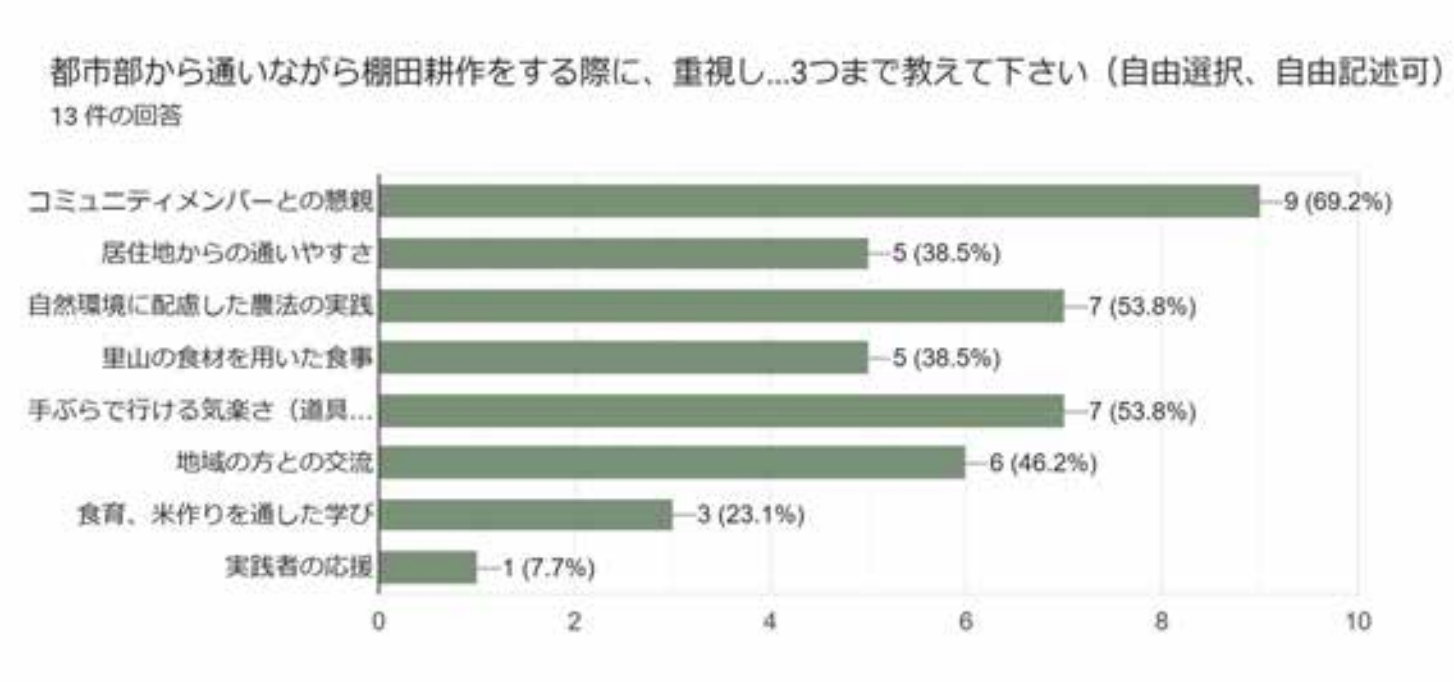
2025年度の会員継続を希望

アンケート結果②

参加者が「通い農」で重視するのは、

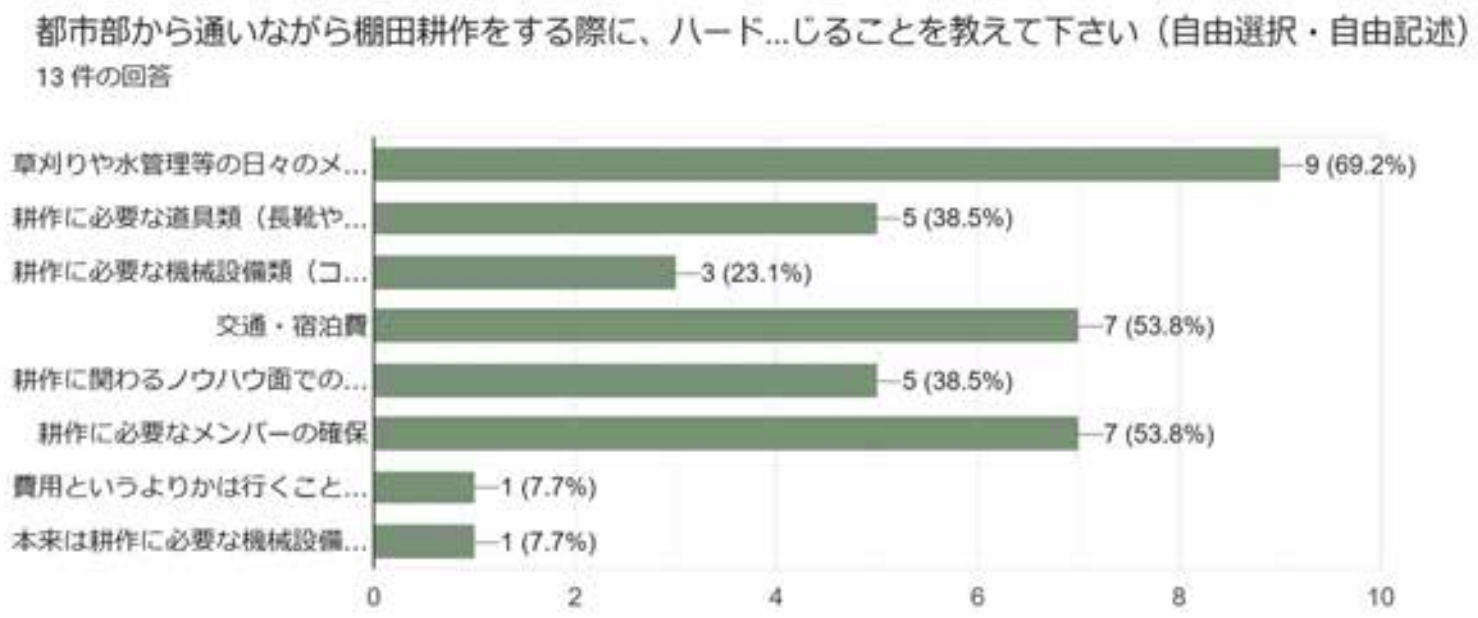
「コミュニティメンバーとの懇親」「自然環境に配慮した農法」

「手ぶらで行ける気軽さ」



アンケート結果③

参加者が「通い農」でハードルに感じるのは、
「草刈り・水管理等の日々のメンテナンス」「交通・宿泊費」
「耕作に必要なメンバーの確保」



アンケート結果④

参加者（耕作会員）のうち3割は、

「長期的な人生設計の中で、いつかは自分の田んぼを持ってみたい」

松代では非常に多くの耕作放棄地が存在します。上...となる可能性として最も近いものを選んで下さい

13 件の回答

”通い農”と”企業研修”の聖地へ

「通い農」の聖地化プロジェクト

「企業研修」の聖地化プロジェクト

相互に
誘い込む

「棚田ステーション」計画

棚田体験に必要な作業道具、ロッカー、着替え場所、
コワーキングスペース等を備えた施設を整備(2025年春OPEN予定)

ヒトの循環を生み出す

カネの循環を生み出す

棚田体験イベントで挙がった声

着替えスペースが少ない
農作業中の貴重品の管理が不安

長靴を購入しても荷物になるので
持ち帰りたくない

農作業の合間でも、パソコンを開いて
テレワークできる場所があると便利

棚田体験イベントで挙がった声

FOR 棚田地域の活性化

棚田の"通い農"を身近にする「棚田ステーション」計画

星裕方（十日町市地域おこし協力隊/㈱里山パブリックリレーションズ代表）

現在の支援総額

¥3,853,500 / 目標 ¥3,830,000

100%

支援者 230人

残り 0分

プロジェクトは終了しました

いいね 15

「棚田ステーション」のコンセプト

都市と里山の人々が交わる「棚田の駅」

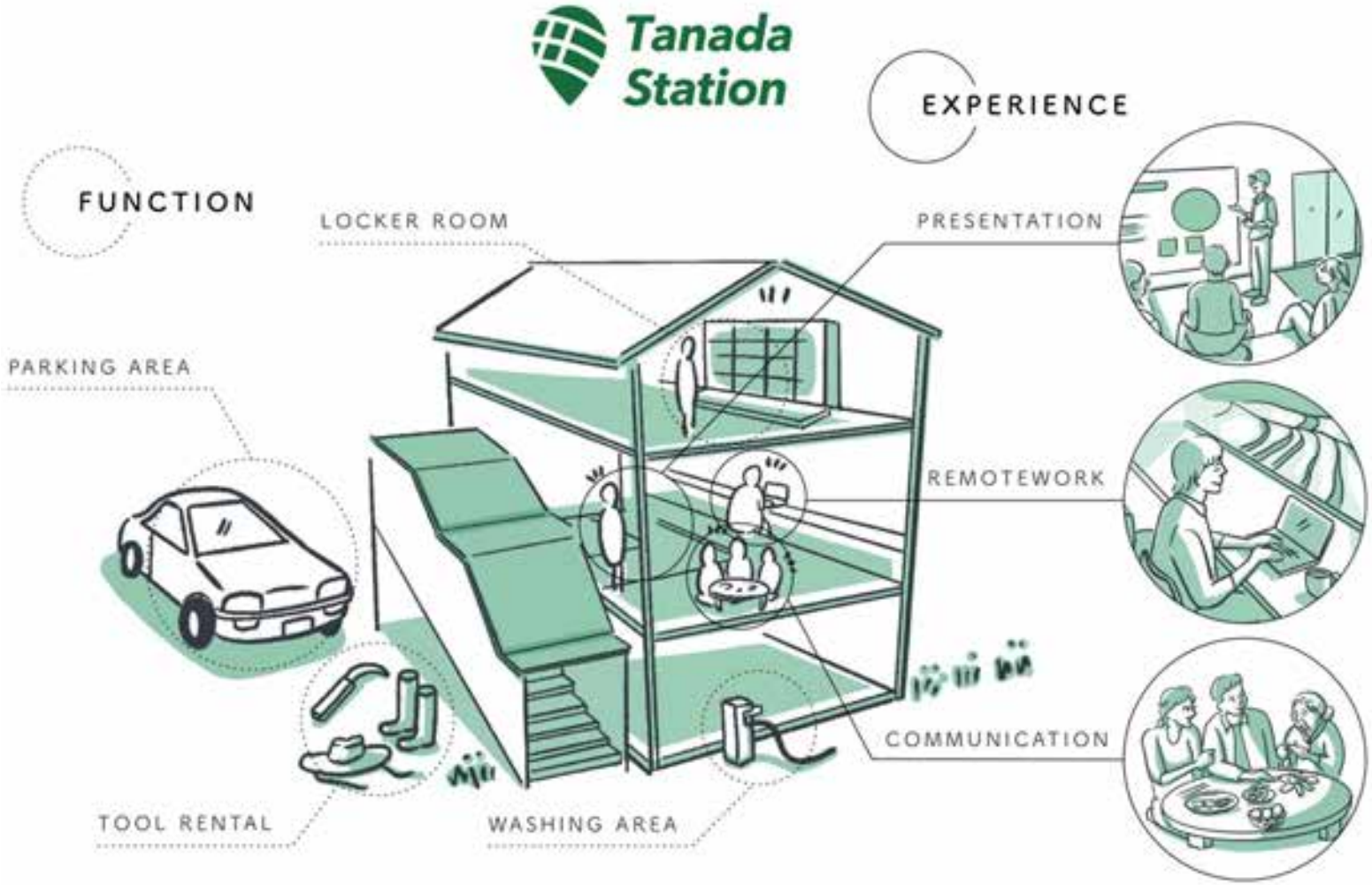
「棚田ステーション」は、都市の余力と里山の余白を繋ぐ「棚田の駅」。

棚田から始まる様々なストーリーの出発地点です。

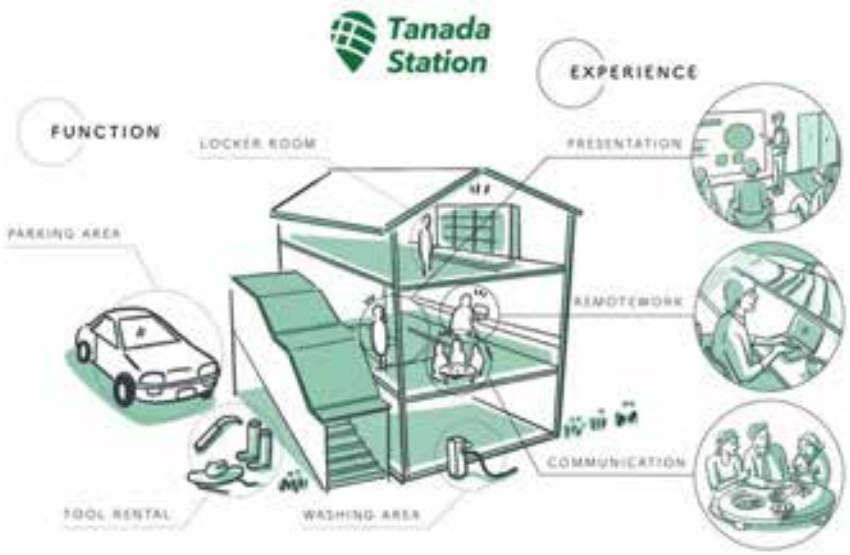
旧農協施設を借り受け、改修実施

旧農協施設「夢テラス」→ Tanada Station

「棚田ステーション」の機能・特徴



「棚田ステーション」の機能・特徴


Tanada Station
EXPERIENCE
FUNCTION
LOCKER ROOM
PRESENTATION
PARKING AREA
REMOTEWORK
COMMUNICATION
TOOL RENTAL
WASHING AREA

「棚田ステーション」の将来の姿

- 棚田を用いた様々な研究・実証実験の活動拠点
- 地物の食材をすぐ調理して食べられるシェアキッチン
- ラストワンマイルモビリティの発着場所

【主な機能】
◎水温・水位をIoTセンサーでリアルタイムに計測
◎基準値を超えたタイミングで通知　※水門操作も可能
◎チャット機能など充実のコミュニティ機能搭載

- コミュニティチャット機能
- 専門家への相談機能
- 作業カレンダーの共有機能
- 水門の遠隔操作機能
- メンバー管理機能

※画像はイメージ

※画像はイメージ

まとめ

「通い農は、令和の出稼ぎ文化」

- かつては里山から都市へ「お金を稼ぎに行く」出稼ぎ
- これからは都市から里山へ「農作物を稼ぎに行く」出稼ぎ
- 昭和までの出稼ぎが経済的安定を求めるならば、令和の出稼ぎは文化的・精神的安定を得る新しいライフスタイル

中山間地農業は市場の失敗？

否「都市住民のニーズに向き合えば、新たな価値が生まれる」

- 対企業ではCSRや福利厚生、チームビルディング研修等の予算を地方と結びつけ、都市の資本が里山に循環する仕組みをつくる
- 対個人ではウェルビーイング、健康、教育、ワーケーションなど、都市のニーズに応える多面的な収益源と人流を確保
- 買い手ありきの「農業」ではなく、都市住民の参画によるライフスタイルとしての「農」へ

「平地は大規模集約型、中山間地は小規模分散型で生き残る」

- 大規模集約型で効率を高める農業と、小規模分散型で価値を生む農（多面的価値を収益源とした農業/ライフスタイルとしての農）の共存
- それぞれの持続可能性を認めることが健全な農業の未来
- 小規模分散型においては、「小さく投資ができること」が最も重要。数百万円もする農業機械を導入すると、どうしても大規模集約型にならざるを得ない。そこが悩ましい…

補助金は”大きく、複雑”ではなく”小さく、簡単に”
通い農直払いの仕組みを

- 里山に必要なのは「大規模プロジェクト」ではなく、「小さな支援」の積み重ね
- 通い農のための、機動的で柔軟な直払い制度を導入するのはどうか
- →交通・宿泊費の補助や、圃場整備（代かき等）・草刈り・水管理等を地域の方に委託するための助成
- 現状の直払いの「多面的機能支払交付金」がそれに当たる？ただし地域の合意形成が必要なのと、国の会計検査が厳しく遡及返還の要項もあるため、どうも萎縮しがち。
- 実施主体を”通う人”（またはそれをコーディネートする人）サイドに置けるとよい
- 会計検査の主体がもっと自治体（国県市ではなく支所ベース）に移譲された助成金が必要。動脈的な支援から、毛細血管的な支援へシフト